



福島県立博物館 2019 年度テーマ展

けんぱくの宝 2019

武の美

2019 年 10 月 19 日 (土) ~ 12 月 8 日 (日)

会場：福島県立博物館 常設展部門展示室「歴史・美術」

観覧料：常設展料金でご覧になれます

一般・大学生 280 円（20 名以上の団体は 220 円）、高校生以下無料

主催：福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町 1-25 Tel : 0242-28-6000 Fax : 0242-28-5986

URL : <https://general-museum.fcs.ed.jp/> E-mail : general-museum@fcs.ed.jp



刀 銘 会津刀匠和泉守兼定 個人蔵・当館寄託

けんぱくの宝 2019

武の美

福島県立博物館が収蔵する美術工芸品から代表的な資料をご紹介している恒例のシリーズ「けんぱくの宝」展。今年度は、「武の美」として、当館収蔵品の中から福島県域で活躍した刀匠がつくった刀剣をご覧ください。

江戸時代、福島県域各地で刀匠が活躍しましたが、中でも会津は数多くの名匠がいたことで知られています。会津の刀匠からは、初代三善長道の刀、幕末に活躍した 11 代古川兼定の刀など 5 振。二本松の刀匠・古山弘元と江戸時代後期の白河藩主・松平定信のお抱え刀工であった手柄山正繁の刀も展示いたします。いわきの刀匠からは根元国虎などの刀、脇差 3 振。特別出品として、福島市を拠点に活動している現代の刀匠・藤安将平さんの大太刀等もご紹介いたします。

福島の刀匠たちの技と武の道具である刀に表した美。武器だからこそ敬虔な想いでつくられたその姿をご覧ください。

主な展示作品：

初代三善長道作	刀	銘 陸奥大掾三善長道	当館蔵
二代三善長道作	脇差	銘 陸奥大掾三善長道	個人蔵
十一代古川兼定作	刀	銘 会津刀匠和泉守兼定	個人蔵・当館寄託
古山弘元作	刀	銘 若緑	個人蔵・当館寄託
手柄山正繁	刀		当館蔵
藤安将平作	大太刀		個人蔵

…など、12 振



刀 銘 会津刀匠和泉守兼定 個人蔵・当館寄託

美術講座 触って見る刀剣講座

講師：藤安将平氏（将平鍛刀場刀匠）

日時：11月23日（土・祝）13：30～15：00

会場：視聴覚室

定員：20名（要申込・先着順）

*10月23日より募集開始（tel もしくは受付カウンターで申込）

参加費：無料



藤安将平 ふじやすまさむら

福島県伊達郡生まれ。昭和 41 年長野県坂城町の刀匠・人間国宝の宮入行平師に入門。昭和 50 年福島県立子山に鍛刀場を開設して独立。以後作刀の研究修練を重ね日本美術刀剣保存協会を受賞多数。平成 2 年には日本美術刀剣保存協会会長賞受賞。同 14 年日本美術刀剣保存協会寒山賞を受賞。

熱田神宮、奈良県護国神社、鹿島神宮など多くの神社で奉納鍛錬を行っている。東日本大震災で大きな被害を受けた福島県南相馬の御刀神社復興支援に尽力し、御神宝となる直刀を謹作奉仕した。

触って見る刀剣講座ご参加の方へのお願い

- ・鑑賞のため正座の状態で見ることがあります。女性の方は胸元が開いている服装や短いスカートやショートパンツでの参加はご遠慮ください。
- ・資料を手にとって鑑賞していただけます。持ち方などの説明をお聞きいただき、十分にご注意の上、ご鑑賞ください。

美術講座 聞いて見る刀剣講座

講師：藤安将平氏（将平鍛刀場刀匠）

日時：11月23日（土・祝）15：30～16：30

会場：常設展部門展示室「歴史・美術」

定員：無（申込不要）

参加費：無料（要常設展チケットもしくは年間パスポート）



福島県立博物館

お問い合わせ・申込

〒965-0807 福島県会津若松市城東町 1-25

Tel：0242-28-6000 Fax：0242-28-5986

URL：https://general-museum.fcs.ed.jp/

E-mail：general-museum@fcs.ed.jp

■会津若松駅から約 3km タクシーで約 10 分

■会津若松駅から

まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約 20 分（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）

まちなか周遊バス「あかべえ」で約 30 分（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）

★車椅子使用者用駐車場

博物館西側「鶴ヶ城三の丸」バス停そば：2 台

一般駐車場内博物館入り口側：2 台

*ご不明の点はお問い合わせください

